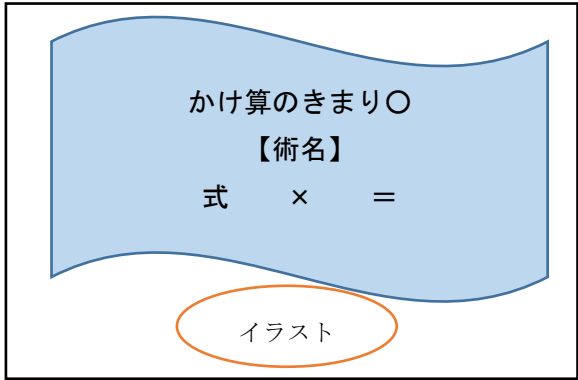


自作教具の活用事例

【作品名】 忍法！ かけ算のきまり	【学校名】 日立市立成沢小学校
【活用できる領域・教科等】 算数科	【制作者名】 長山 瑞季
【制作の意図】 かけ算が苦手な児童でも、かけ算のきまりを覚えやすい、または理解しやすいように、きまりを忍法の術名とした。ICTを活用して、動きをつけることで注目しやすくし、また、繰り返し学習できるように視覚的に示す。自分で考えることをもっと身近に楽しくする教材である。	【使用方法】 かけ算の学習時に、ICTを活用しながら、提示して説明する。かけ算九九を覚える学習と同時進行で、このきまりも確認すると、分かりやすい。通年で使用できるように、ラミネート加工して、教室に掲示したり、ミニカードにしたり、児童の実態・状況に合わせて使用する。
【制作上の工夫】 PC のアプリケーション「パワーポイント」で作成し、授業時はアニメーションを上手く活用しながら、動きを付けて説明する。 紙媒体にして、ラミネート加工して掲示したり、児童にミニカードとして配付したり、いつでも活用できるようにしておく。	【見取り図】 
【写真】 	【使用効果と応用発展】 3年生の算数、かけ算の学習で活用できるものだが、本学級の児童4年生でかけ算九九が覚えられない児童に活用した。授業中は電子黒板などで示し、また、児童のタブレットでも使用し、何度も繰り返し確認することができた。小テストなどでもこのきまりを使って、覚えられていない九九の答えを考えることができ、ワーキングメモリーが低い子にも効果的だった。この教材のおかげで、安心して学習に取り組めた児童もあり、かけ算九九をマスターした児童もいる。かけ算だけでなく、わり算や計算のきまりなども同様に活用することができる。一度作成すれば、復習時にも活用でき、また問題を解く考えが広がるものであり、「すべての術で解いてみたい！」と意欲的に学習できる教材であった。
【材料・材質・部品等】 PC アプリケーション「パワーポイント」 無料のイラスト ラミネートフィルム ミニカード用リング	